

夏休みへの心構えは万全ですか？

2・3年生、去年の夏休み前の学習だよりのタイトルを覚えていますか？

**「明日からやろう」を38回言うと
夏休みは終わります。**



衝撃的な言葉だったので、心に強く残っています。

つつい、面倒なこと、難しいことを後回しにしてしまう傾向のある人はいませんか？ 楽な方、楽しい方に流れてしまうことはとっても簡単です。毎日暑いし、部活動も大変だし…と「今日はいいや、また明日やればいいや」と流れてしまうと、それが習慣になり、あっという間に夏休みは終わります。

振り返ると、何も残らない夏になってしまう恐れがありますね。そうならないためにはどうすればいいのでしょうか。

◆まずはしっかりと計画を立てよう！◆

最近読んだ本「まずは書いてみる」(藍玉著 KADOKAWA)に載っていましたが、予定を立てる際に、まずは「自分で絶対逃したくないことを最初に書き込んでしまう」と良いそうです。

ありがちですが、「毎日筋トレをしよう!」と思ったのに、三日坊主で終わってしまう…そういう人は、漠然と「毎日やる」としか計画を立てていないから。「一日のいつ、どのくらい、何をやるのか」までしっかりと計画を立ててしまうのです。

①学習する時間帯をしっかりと決める。

遊ぶ時間より先に、この時間帯をまずはしっかりと決めましょう。計画表のように、いくつかパターン(「部活動が午前の日」「部活動が午後の日」…など)があってもいいですが、たくさんのパターンを作らないように。どんなに多くても、3パターンくらいの時間帯で夏休みが回るいいでしょう。パターンが多いと、そのうちやっぱり「面倒だな」モードが働いてしまうからです。そして、できれば「朝」のうちに!朝の方が脳は働き、夜中にやるよりたくさん覚えます。

(寝る前にちょっと復習して、翌朝、覚え直ししながら勉強を始めるのが最適!!)

②大まかに、内容の計画を立てる。

最後にやらなくてはならないことがてんこ盛りにならないように、「この期間(○日から○日まで)で国語の宿題」「この期間でサマースクール」「この日に国語の作文」「この期間で期末テストの勉強」というように、日にちで区切って計画を立てておくといいでしょう。その際は「優先順位」を良く考えて、何をいつやったら良いのか考えて計画しましょう。

◆1・2年生へ◆

受験生である3年生を見ると、大変だなあと思うかもしれません。でも、受験生になってからではなく、「今やっている学習」を確実に習得していくことが、受験生になったときに、とても楽になると思います。県立高校入試の国語の漢字の問題に小学校高学年や中学校1年生で習った漢字がたくさん出るよという話も聞いたことがあります。今、目の前の課題に一生懸命取り組んでいけば、あとになってとても楽になります。まずは、宿題などの課題を全力で終わらせるようにしましょう。

◆受験生である3年生へ◆



「夏休みを制するものが受験を制する」＝「夏は受験の天王山」

夏休みを有意義に過ごした受験生。結果に必ず出てきます。逆に有意義に過ごせなかった場合は、受験勉強において「他の人より遅れを取った」ということになります。

秀吉が天下をとる過程における、天下分け目の戦いとされている「山崎の戦い」において、天王山（京都と大阪の間に間にある山）を奪い取ったことにより明智光秀との争いに勝利をおさめた史実が由来とされています。辞書には「勝敗や運命の大きな分かれ目」と記載されています。

受験が満足のいく結果になるかどうかの分かれ目は夏休みにある、ということです。

上で、1・2年生に向けて書いたように、入試にはもちろん1・2年生の内容も出題されます。1・2年生の範囲の内容に自信がない…という場合、この夏休みで何とかするしかないのです！夏休みが終わると、入試まで、本当にあっという間です。復習できる貴重な時間は、この夏休みしかないのです。

夏休みの復習の仕方、志望校の可否が決まるといっても過言ではありません。では、何を復習すればよいのでしょうか。夏休みにしかできないこと、それは、「あえて苦手な教科や分野をやる」ということです。得意な教科を90点から100点にUPすることと、苦手な教科を30点から40点にUPすることは、同じ10点でも、大変さが違うのが分かりますか？

長い休みで、苦手な教科を計画的に学習できるようにしてみましょう。休みが明けたとき、苦手な教科が克服できることを信じて！

◆定期テストの学習相談について◆

1学期の期末テストから、テスト前期間の放課後の「学習相談日」を設けたいと思います。以下の通り2日間です。

9月2日（月）	15：45～16：30（45分間）※B日課
3日（火）	16：15～17：00（45分間）

質問したい、学習したいという教科を希望し、申し込めば、皆さんの希望に添えるよう、各教科の先生が分からない内容について質問に答えてくれます。（詳しくは、別紙「1学期末テスト放課後楽手相談の実施について」を参照してください。）是非、利用してみてください。（申込書が必要です。）